



高崎経済大学地域科学研究所 第10回地元学講座

堤ヶ岡飛行場と地元の人々による映画化 —戦時下に生きた青少年の記憶を記録する

「陸軍前橋（堤ヶ岡）飛行場と戦時下に生きた青少年の体験記」（平成26年・第一集）は、映画監督の飯塚俊男氏と地域の人たちの支援により映画化されました。タイトルは「陸軍前橋飛行場—私たちの村も戦場だった」です。

戦争は夢を持って生きてきた多くの人々の命を奪い、幸せな家族を崩壊するだけでなく、人々が作り上げてきた故郷や文化をも破壊してしまいます。過去の歴史は変えられません。しかし、そこから学ぶものは多くあります。戦争により解決するものは何もないことは誰もが知っています。戦争によって残るのは悲哀と後悔そして憎悪だけのような気がします。

戦後75年が経ちます。今日の平和な時代にこそ、次の時代を担う人たちに、戦時下に生きた人たちの「生の声」に耳を傾けて、平和と戦争について考えていただけることを願っています。

講師：鈴木 越夫 氏（元群馬町教育長）

日時：令和2年11月16日（月）13時30分～15時30分

場所：高崎市中央公民館 視聴覚室

内容：堤ヶ岡飛行場にまつわる話

「陸軍前橋飛行場」の一部上映とトーク

定員：50名（応募者多数の場合は抽選）

11月4日（水）必着

申込：はがき、FAX または Eメールにて地域科学研究所へ

《講師プロフィール》 鈴木 越夫（すずき えつお）

1944年（昭和19年）金古町生まれ。高崎市立小中学校、高崎市教育委員会勤務、群馬中央中学校校長などを経て、平成15年に旧群馬町教育長就任。その後、かみつけの里博物館館長や高崎市群馬地域審議会の委員、副会長などを歴任。

現在は、群馬県教育振興会専務理事、高崎市金古公民館運営推進委員会委員長などを務めている。

お申込み
お問合せ先

高崎経済大学地域科学研究所（事務局 研究グループ研究支援チーム）

〒370-0801 高崎市上並榎町1300番地

電話：027-344-6267 FAX：027-343-7103

E-mail：chiikikagaku@tcue.ac.jp